

HUAWEI MateView

ユーザーガイド



目次

本書について

本製品の概観とポート

モニターの電源をオン/オフする

ディスプレイの角度と高さを調整する

ワイヤレス投影（HSN-CBA モニターのみ対応）

モニターをワイヤレスネットワークに接続する（HSN-CBA モニターのみ対応）

ケーブルを使用して本製品を接続する

Bluetooth キーボードまたはマウスを接続する（HSN-CBA モニターのみ対応）

モニターの OSD メニューを設定する

よくある質問

安全上のご注意

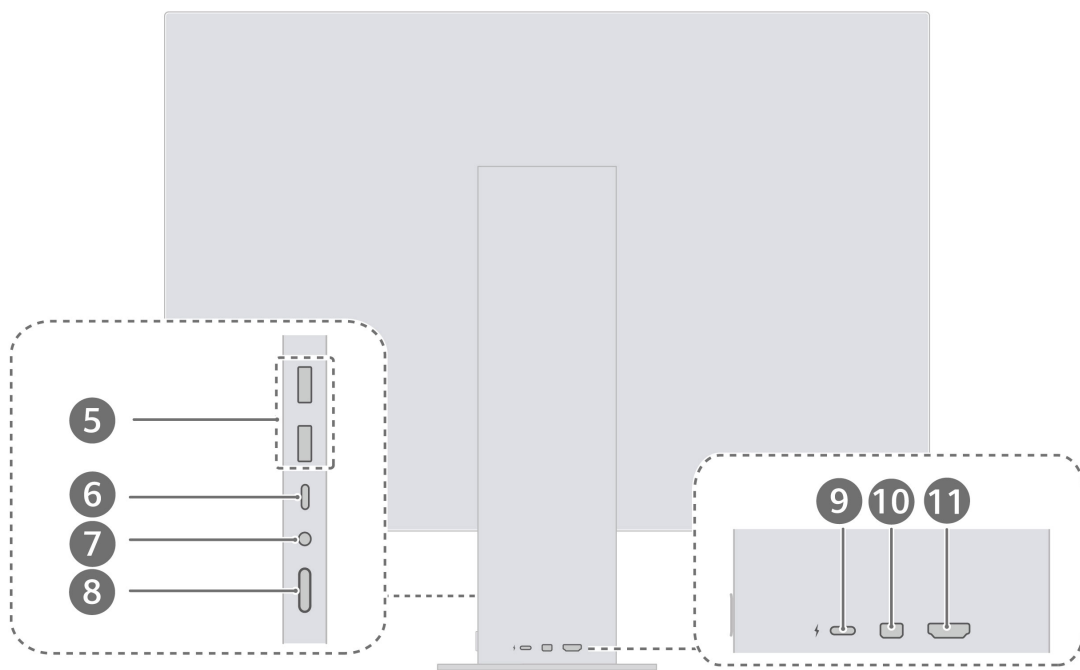
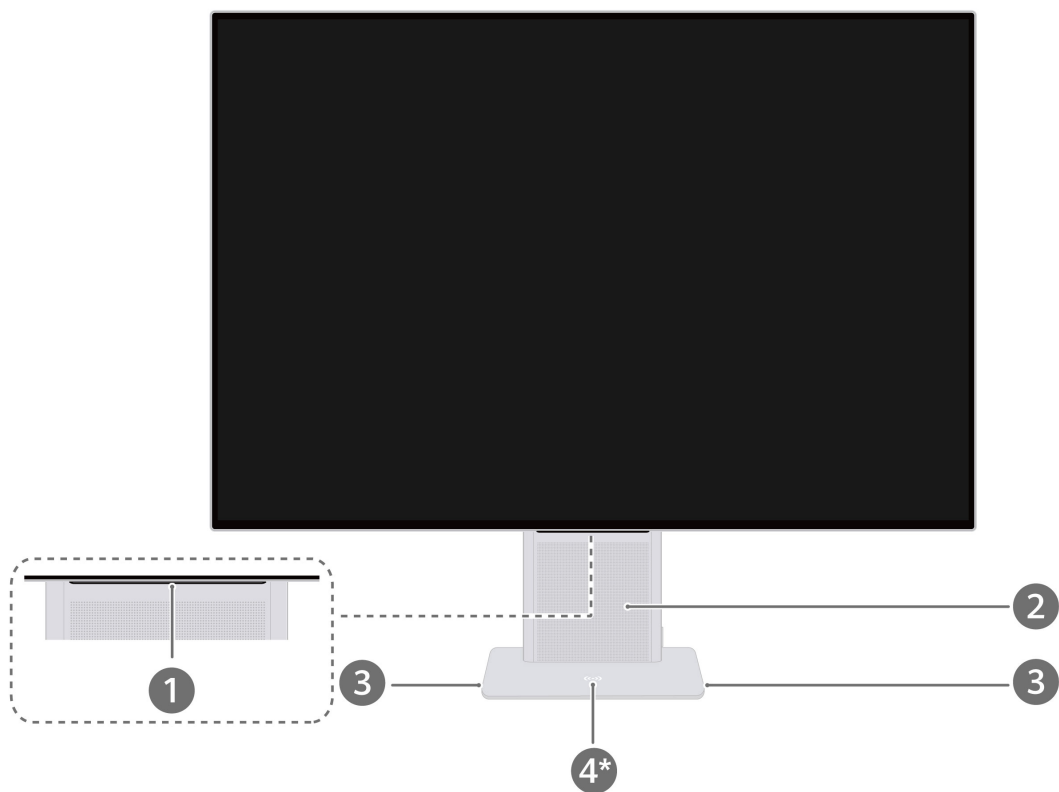
法律上の注意事項

本書について


HUAWEI MateViewをご使用になる前にまず本書をお読みください。

本書の本文中においては、「HUAWEI MateView」を「本製品」と表記しています。本書に記載されたコンポーネントの中には、モニターに搭載されていないものもあります。それらは別途ご購入ください。本書で説明した機能の中には、他のコンポーネントと一緒に使用した場合にのみ利用可能なものもあります。本書の図やGUIは、実際のものとは異なる場合があります、図はすべて参考用です。

本製品の概観とポート





1	<h3>HUAWEI Smart Bar</h3> <ul style="list-style-type: none">・画面がオフ、またはスリープモードの場合、HUAWEI Smart Bar を1本の指でタップして画面を起動できます。・本製品の電源がオンで、有線投影モードまたはワイヤレス投影モードで外部機器に接続されている場合、本製品に外部機器の画面が表示されます。その場合、OSDメニューが表示されなくても以下の操作が可能です。<ul style="list-style-type: none">・ HUAWEI Smart Bar を1本の指でスライドして、本製品のスピーカー音量を調整します。・ HUAWEI Smart Bar を2本の指でスライドして入力ソース切替画面を開き、入力ソースを素早く切り替えます。・ HUAWEI Smart Bar を1本の指でタップして、OSDメニューを表示します。・本製品の電源がオンで、OSDメニューまたはシステム画像が本製品に表示されている場合は、HUAWEI Smart Bar を操作して本製品の設定を調整できます。<ul style="list-style-type: none">・ HUAWEI Smart Bar を1本の指でスライドしてオプションを切り替えます。・ HUAWEI Smart Bar を1本の指でタップして、選択を確定します。・ HUAWEI Smart Bar を1本の指でダブルタップして戻るか終了します。 <p>i ワイヤレス投影に対応しているのは、HSN-CBAのみです。本製品の電源がオンで入力信号がない場合、本製品に専用のシステムデスクトップが表示されます。ワイヤレス投影は、HUAWEI Smart Bar を1本の指でダブルタップして終了できます。</p>
2	<h3>スピーカー</h3> <p>音を再生します。</p>
3	<h3>マイク</h3> <p>本製品の台座の両側に配置されています。 テレビ会議や音声電話、録音に使用します。</p> <p>i 本製品のマイクを使用できるのは、USB-C to USB-Aケーブルを使用して、本製品をデスクトップコンピュータもしくはノートパソコンに接続した場合（USB-A端子をコンピュータに接続）、または本製品付属のUSB-C to USB-Cケーブルを使用してノートパソコンなどの機器に接続した場合のみです。</p>

4*	Huawei Share センサー 一部の機器は、NFC検出領域で画面のHuawei Share センサーをタップするとワイヤレス投影を実行できます。  このコンポーネントは、HSN-CBA モニターにしか搭載されていません。
5	USB-A (USB 3.2 Gen 1) ポート <ul style="list-style-type: none">・ スマートフォンなどの機器を最大DC 5V/1Aで充電できます。・ 有線キーボードやマウスなどのデバイスに接続します。<ul style="list-style-type: none">・ HDMIケーブルまたはMiniDP-to-DPケーブルを使用して本製品をコンピュータに接続している場合、キーボードとマウスを本製品に接続して逆にコンピュータを操作したければ、さらにUSB-C to USB-Aケーブルを使用して本製品をコンピュータに接続する必要があります。このケーブルのUSB-A端子がコンピュータ側に接続されていることをご確認ください。・ 本製品付属のUSB-C to USB-Cケーブルを使用してノートパソコンやスマートフォンなどの機器に本製品を接続すれば、キーボードとマウスを本製品に接続して逆に機器を操作できます。・ 本製品に専用のシステムデスクトップが表示されている場合、キーボードとマウスを接続して本製品を操作できます。
6	USB-Cポート <ul style="list-style-type: none">・ PDプロトコルをサポートするノートパソコンなどのモバイル機器を最大20V/3.25Aで急速充電できます。・ 本製品付属のUSB-C to USB-Cケーブルを使用して本製品をコンピュータに接続します。
7	ヘッドセットジャック ヘッドセットに接続します。
8	電源ボタン 本製品の電源をオン/オフします。
9	USB-C電源ポート 電源アダプタに接続して本製品に給電します。
10	MiniDPポート MiniDPケーブルを使用して、コンピュータなどの機器に本製品を接続します。
11	HDMIポート HDMIケーブルを使用して、コンピュータなどの機器に本製品を接続します。

モニターの電源をオン/オフする




- ・ 本製品の電源がオフになっているか、画面がオフになっているか、または本製品がスリープモードの場合は、電源ボタンを押すと本製品の電源がオンになります。
- ・ 本製品の電源がオンの場合は、電源ボタンを3秒以上長押しすると、本製品の電源がオフになります。
- ・ 画面がオンの場合は、電源ボタンを押すと画面がオフになります。
- ・ 本製品の電源はオンだが、入力信号がない場合は、自動的にスリープモードになります。
 - ① 本製品は省電力モードを有効化すると、本製品の電源はオンだが入力信号がない場合、自動的にディープスリープモードになり、Wi-FiとBluetoothが無効化されます。省電力モードを有効化するには、本製品の電源がオンで入力信号があるときに、HUAWEI Smart Barを1本の指でタップして、OSDメニューを開き、 >  に移動します。

ディスプレイの角度と高さを調整する

ディスプレイのパネルを両手でつかみ、パネルを回転させて角度を調整し、パネルを上下に動かして高さを調整します。

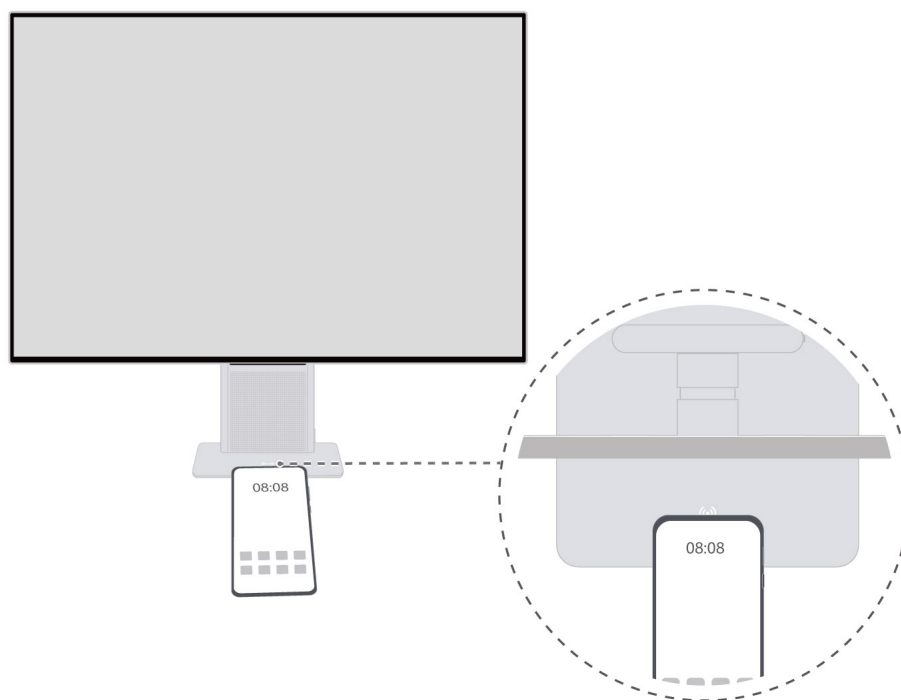
下向きに最大 5° ($\pm 2^{\circ}$)、上向きに最大 18° ($\pm 2^{\circ}$) 傾けられます。高さは、110mm (± 5 mm) まで調整可能です。

 ディ스플레이の角度や高さを調整したり、移動させたりするときは、画面が損傷しないように、過度な力で画面を押さないようにしてください。



ワイヤレス投影（HSN-CBA モニターのみ対応）

ケーブルを使用せずに端末やコンピュータの画面をモニターにすばやく投影できるため、画面をまたいだ操作が可能です。

端末の画面を投影







- 1 端末の通知パネルで、NFC、Wi-Fi、Bluetoothをオンにします。
- 2 本製品の電源がオンで、端末の画面がロック解除されている場合、端末のNFC検出領域でモニターの台座の中央にある ((•)) をタップすると、端末が鳴るか、振動します。そうしたら、端末を離して画面上の説明に従います。
- 3 端末の画面がディスプレイに投影されます。端末を操作すると、端末の画面が本製品に同期されます。

- i . この機能に対応しているのは、NFCまたはワイヤレス投影をサポートする一部のHuawei端末のみです。
- ・ 端末が旧バージョンを実行している場合は、本製品と同じWi-Fiネットワークに端末を接続してから端末の画面をディスプレイに投影してください。画面上の説明に従って接続を完了します。この機能を存分に活用するには、端末を最新バージョンに更新してください。
- ・ 端末の画面をワンタッチプロジェクションで投影できない場合は、端末の通知パネルで  を有効化し、近くのデバイスを検索して、ワイヤレスモニターを選択し、画面上の説明に従います。
- ・ 端末をモニターに初めて接続する場合は、ペアリングコードの入力が必要になる場合があります。その場合は、指示に従って操作を実行してください。
- ・ 本製品がケーブルで別の端末に接続され、その端末の画面が本製品に表示されている場合は、HUAWEI Smart Barを2本の指でスライドして、入力ソースを  に切り替えてください。本製品に専用デスクトップが表示されたら、上記の操作を実行して端末の画面を投影します。







コンピュータの画面を投影



- 1 モニターとコンピュータの両方の電源をオンにします。
- 2 コンピュータのデスクトップの下部にある  をクリックし、 をクリックして投影ページを開き、コンピュータをワイヤレスモニターに接続します。
 - i  アイコンが表示されていない場合は、ショートカットの操作領域を展開してアイコンを見つけてください。
- 3 コンピュータで近くのデバイスを検索してワイヤレスモニターを選択し、画面上の説明に従います。
- 4 コンピュータの画面がディスプレイに投影されます。コンピュータを操作すると、コンピュータの画面がモニターに同期されます。

- ① この機能が利用できるのは、ワイヤレス投影に対応したWindowsコンピュータのみです。
- 本製品がケーブルで別の端末に接続され、その端末の画面がモニターに表示されている場合は、HUAWEI Smart Barを2本の指でスライドして、入力ソースを  に切り替えてください。モニターに専用デスクトップが表示されたら、上記の操作を実行してコンピュータの画面を投影します。

モニターをワイヤレスネットワークに接続する (HSN-CBA モニターのみ対応)

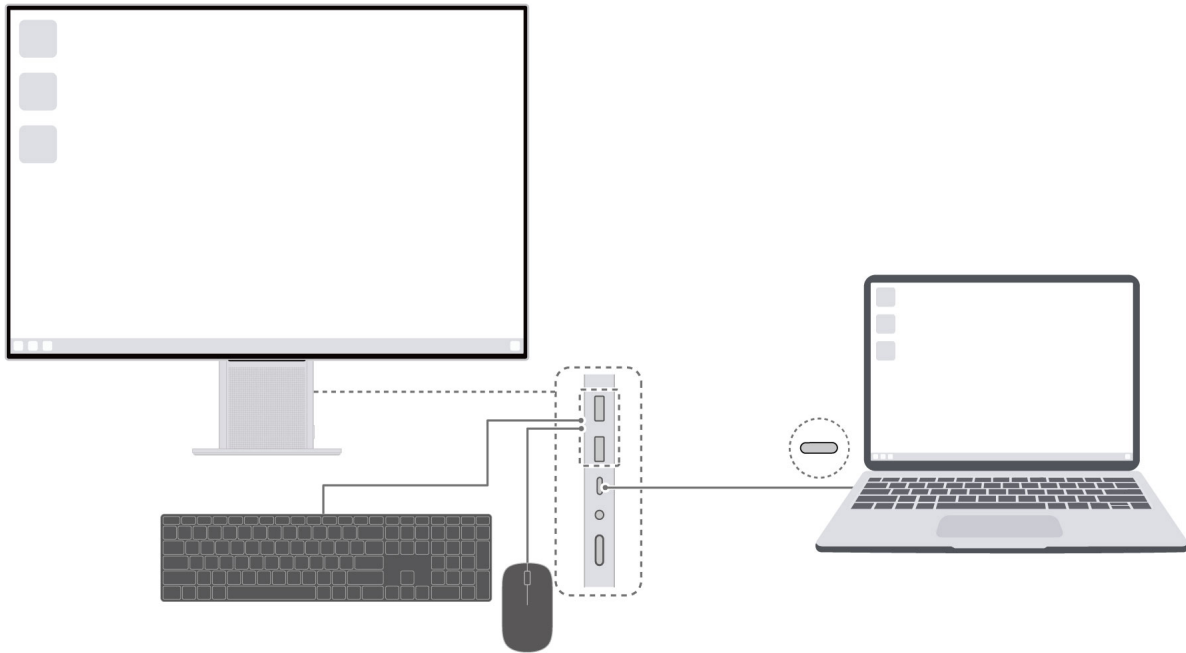
- 1 本製品を入力信号なしに切り替えて専用のシステムデスクトップを表示させます。
 - ・ 本製品がワイヤレス投影モードの場合は、端末やコンピュータから切断するか、モニターのHUAWEI Smart Barを1本の指でダブルタップしてワイヤレス投影を終了します。
 - ・ 本製品がケーブルで外部端末に接続され、その外部端末の画面がモニターに表示されている場合は、HUAWEI Smart Barを2本の指でスライドして入力ソースを  に切り替えて有線接続を終了します。
- 2 HUAWEI Smart Barをタップして、 >  に移動し、画面上の説明に従ってネットワーク接続を完了します。
 - ・ 本製品がマウスに接続されていない場合は、Wi-Fiネットワーク画面に **AI Life** アプリのインストールページが表示されます。Huawei端末を使用して、**AI Life** アプリをダウンロードしてインストールし、アプリを使用して接続を完了します。
 - ・ 本製品が外付けマウスに接続されている場合は、 アイコンをクリックすると、利用可能なWi-Fiネットワークのリストが表示されます。該当するWi-Fi名を選択してWi-Fiネットワークに接続します。Wi-Fiネットワークリストの下の **AI Life** をタップして画面上の説明に従い、**AI Life** アプリを使用して接続を完了することもできます。
 -  **AI Life** アプリを初めて使用する場合は、HUAWEI IDでサインインする必要があります。
 - ・ 本製品を検出するダイアログボックスが表示されない場合は、 をタップしてから、**AI Life** アプリ上部の **デバイスの追加** をタップします。アプリが近くのデバイスを自動的にスキャンします。手動でデバイスを追加することも、本製品のQRコードをスキャンしてデバイスを追加することもできます。
 - ・ 本製品のWi-Fiネットワークの設定に加えて、**AI Life** アプリのモニターアイコンをタップしてデバイスの管理画面にアクセスし、モニターの一部の機能（モニター名の変更など）をカスタマイズできます。

ケーブルを使用して本製品を接続する


i 本製品に付属しないコンポーネントやケーブルもありますので、それらは別途ご購入ください。

USB-C to USB-C ケーブル接続

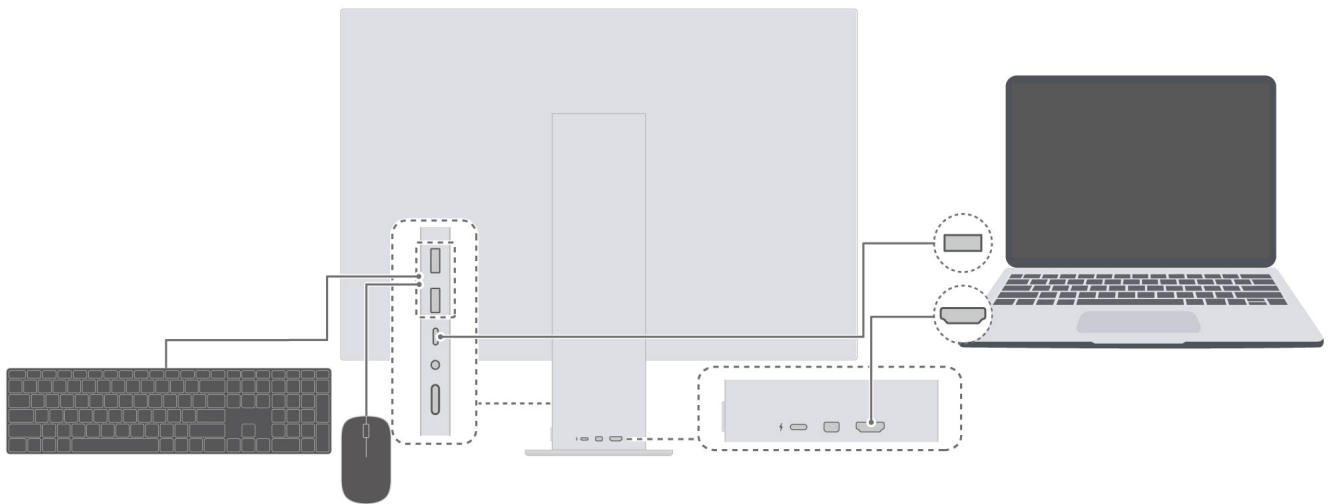
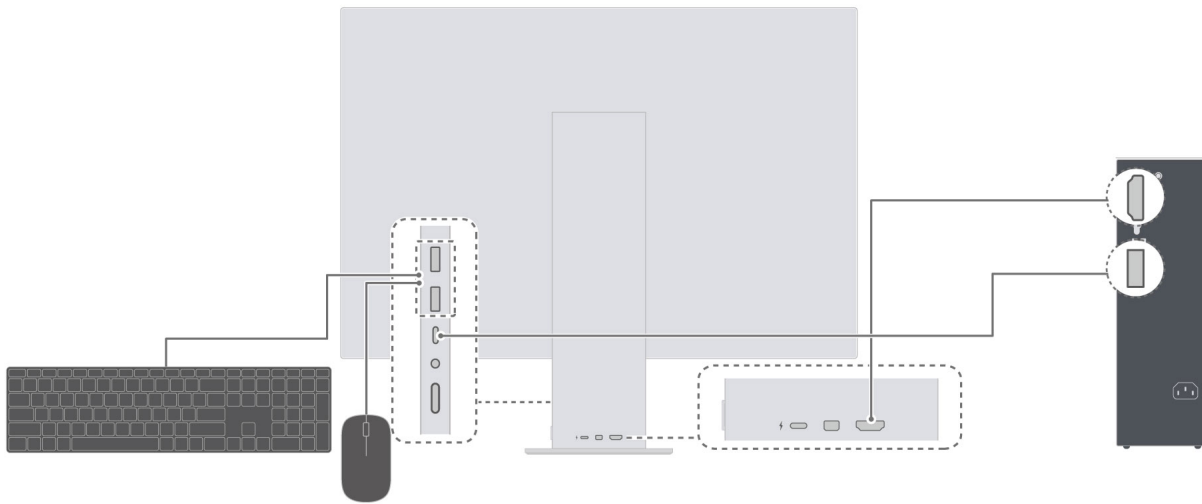
ケーブルを使用してノートパソコンやスマートフォンなどの端末を本製品に接続し、モニターの大画面で端末を操作すると同時に端末の充電も行います。



- 1 本製品付属のUSB-C to USB-Cケーブルの一方の端子をモニターのUSB-Cポートに接続し、他方の端子をノートパソコンなどの端末のUSB-Cポートに接続します。（接続した端末のUSB-Cポートが表示、データ転送、充電に対応している必要があります。）
- 2 本製品および接続した端末の電源をオンにします。接続した端末の画面がモニターに表示されれば、接続が成功したということです。
- 3 キーボードとマウスを本製品のUSB-Aポートに接続し、端末をモニターで逆に操作できるようにします。

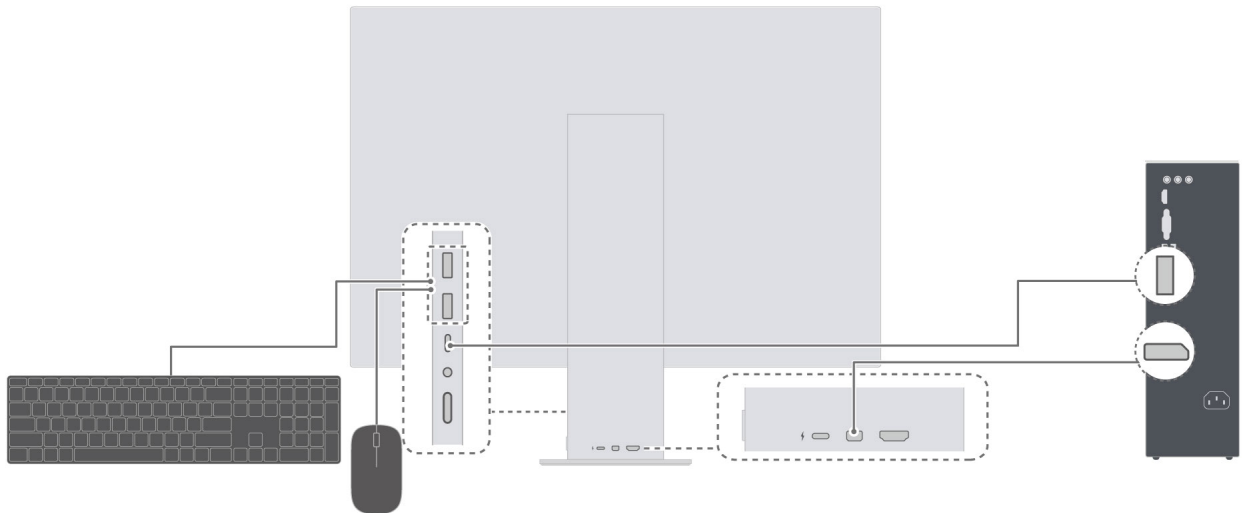
i 接続した端末の画面がモニターに自動的に表示されない場合は、 をタップして入力ソースをUSB-Cに切り替えてください。

HDMI ケーブル接続



- 1 HDMIケーブルの一方の端子をコンピュータのHDMIポートに接続し、他方の端子を本製品のHDMIポートに接続します。
- 2 必要に応じてキーボードやマウスなどのデバイスを接続します。このようなデバイスを本製品に接続するには、USB-C to USB-AケーブルのUSB-A端子をコンピュータに、他方の端子を本製品に接続します。
- 3 本製品とコンピュータの両方の電源をオンにしてしばらく待ちます。コンピュータのシステムデスクトップがモニターに表示されれば、接続が成功したということです。
 - i 一部のモデルの製品は、電源を初めて投入したとき、モニターのシステムデスクトップが表示される場合があります。指示に従って入力ソースをHDMIに切り替えてコンピュータのシステムデスクトップにアクセスしてください。本製品の電源を再度オンにすると、コンピュータのシステムデスクトップが本製品に自動的に表示されます。





MiniDP-to-DP ケーブル接続



- 1 MiniDP-to-DPケーブルのMiniDP端子を本製品に、DP端子をデスクトップコンピュータに接続します。
- 2 必要に応じてキーボードやマウスなどのデバイスを接続します。このようなデバイスを本製品に接続するには、USB-C to USB-AケーブルのUSB-A端子をデスクトップに、他方の端子をモニターに接続します。
- 3 モニターとデスクトップコンピュータの両方の電源をオンにしてしばらく待ちます。コンピュータのシステムデスクトップがモニターに表示されれば、接続が成功したということです。
 - i 一部のモデルの製品は、電源を初めて投入したとき、モニターのシステムデスクトップが表示される場合があります。指示に従って入力ソースをMiniDPに切り替えてコンピュータのシステムデスクトップにアクセスしてください。本製品の電源を再度オンにすると、コンピュータのシステムデスクトップが本製品に自動的に表示されます。

Bluetooth キーボードまたはマウスを接続する (HSN-CBA モニターのみ対応)


HSN-CBAモニターはBluetoothをサポートしているため、Bluetoothキーボードまたはマウスに接続できます。








- 1 モニターに専用のシステムデスクトップが表示されたら、HUAWEI Smart Barをタップして、 >  に移動します。すると、モニターが近くのBluetoothデバイスを検索します。
 モニターに外部端末の画面が表示されている場合は、HUAWEI Smart Barを2本の指でスライドして、入力ソースを  に切り替えます。すると、モニターのシステムデスクトップが表示されます。
- 2 キーボードとマウスのBluetoothスイッチをオンにして検出できるようにします。
- 3 本製品でBluetoothデバイスを選択します。接続が確立されると、Bluetoothマウスとキーボードを使用してモニターを操作できます。また、以下の場合は、本製品に接続した外部端末を逆に操作できます。
 - ・ 端末がワイヤレス投影でディスプレイに投影されている場合。（端末のシステムバージョンが低いと、Bluetoothキーボードとマウスを使用した逆操作をサポートしていない場合があります。）
 - ・ スマートフォンやノートパソコンなどの端末が本製品に付属のUSB-C to USB-Cケーブルを使用して本製品に接続されている場合。
 - ・ コンピュータが、HDMIケーブルとUSB-C to USB-Aケーブル、またはMiniDP-to-DPケーブルとUSB-C to USB-Aケーブルを使用してモニターに接続されている場合。（USB-C to USB-AケーブルのUSB-A端子はコンピュータに接続する必要があります。）

モニターの OSD メニューを設定する

- 1 本製品の電源をオンにして、有線投影モードもしくはワイヤレス投影モードで外部端末に本製品を接続します。本製品に外部端末の画面が表示されたら、HUAWEI Smart Barを1本の指でタップしてOSDメニューを開きます。
- 2 HUAWEI Smart Barのジェスチャーに関する説明に従ってOSDメニューを設定します。
- 3 OSDメニューの設定が完了したら、HUAWEI Smart BarをダブルタップしてOSDメニューを終了します。または、少し待てばOSDメニューは自動的に終了します。

OSD メニューの説明

 OSDメニューはモニターのモデルによって異なります。

	ブルーライトカットモードを有効または無効にすることができます。  長時間閲覧する場合は、ブルーライトカットモードを有効化することをお勧めします。ブルーライトカットモードを有効化すると、画面がやや黄色味がかかった色調になります。
	画面の明るさを調整する。
	入力ソースを切替える。
	色域を切替える。
	省電力モードを有効化または無効化する。  省電力モードに対応しているのは、HSN-CBA モニターのみです。 スピーカーとマイクの音量を調整する。 モニターの表示設定を調整する。 モニターのOSDメニューの言語を切替える。 モニターのOSDメニューを出荷時設定に復元する。

よくある質問

モニターの電源をオンにできない

電源ケーブルがモニターと電源コンセントに正しく接続されているか確認します。

有線投影でモニターに映像が表示されない

- ・ ケーブルがすべて正しく接続されているか確認します。
- ・ モニターやコンピュータなどのデバイスの電源がすべてオンになっているか確認します。
- ・ HDMIケーブルやDPケーブルが損傷していないか確認します。
- ・ 上記の問題が発生していない場合は、モニターを再起動し、映像をモニターに正しく表示できるか確認します。

画面が明るすぎるか暗すぎる

モニターの設定メニューを開いて、画面の明るさとコントラストを調整します。

画面の色がおかしい

- ・ HDMIケーブルやDPケーブルが損傷していないか確認します。たとえば、ピンが曲がっていないか確認します。
- ・ モニターの設定メニューを開いて、色調を調整します。

安全上のご注意

この項では本製品の操作に関する重要な内容を記載しています。この製品を安全に使用していただくための情報も説明しています。実際に製品を使用する前にこうした情報をよくお読みになってください。


電子機器

本製品の使用が禁止されている場合は、ご使用にならないでください。本製品を使用することにより、危険を招く場合やその他の電子機器との干渉が発生する場合には、本製品を使用しないでください。

医療機器との干渉

- ・ 病院や医療機関で定められた規則に従ってください。使用が禁止されている場所では使用しないでください。
- ・ 一部の無線デバイスは補聴器やペースメーカーの性能に影響を与える可能性があります。詳細はサービスプロバイダにお問い合わせください。
- ・ ペースメーカー製造企業では、ペースメーカーとの干渉を回避するためにペースメーカーとデバイスを最低15cm以上離して使用することを推奨しています。
- ・ 本製品の使用が医療機器の動作に干渉するかどうかについては、医療機器メーカーにお問い合わせください。

ヘッドセット使用時の聴力保護

- ・  聴力低下を防ぐために、長時間大音量で音楽を聴かないでください。
- ・ 大音量でヘッドセットを使用すると聴力が低下します。聴力の低下を防ぐために、音量を安全かつ快適なレベルまで小さくしてください。

動作環境

- ・ ほこりや湿気などの多い場所や磁器の近くでのご使用は避けてください。こうした環境で本製品を使用すると、故障することがあります。
- ・ ケーブルを接続および取り外す前に、本製品の使用を停止して電源を外してください。濡れた手で操作を行わないでください。
- ・ 雷が鳴り出したら、感電防止と本製品を保護するために電源を切り、すべてのケーブルを外してください。
- ・ 動作温度は0℃～35℃です。保管温度範囲は-10℃～+45℃です。極端に高温または低温になると、本製品や付属品が損傷する場合があります。
- ・ 本製品や付属品を火災や感電の危険から保護するために、水分や湿気を避けてください。
- ・ 本製品をヒーター、電子レンジ、ストーブ、給湯器、ラジエータ、キャンドル等、火のそば、高温の場所に置かないでください。
- ・ 長時間高温の機器に触れていると、赤い斑点やしみなどの低温やけどの症状が発生することがあります。

- ・ お子様やペットが本製品や付属品に噛みついたり、誤って飲み込んだりしないようにしてください。損傷や発火の原因となります。
- ・ 現地の法律や規則を遵守し、他人のプライバシーや法的権利を尊重してください。
- ・ 本製品内に異物や水が入った場合、すぐに使用を中止して電源を切り、接続されているケーブルをすべて外してください。それからファーウェイ正規のサービスセンターにご連絡ください。

お子様の安全について

- ・ お子様の安全上の注意事項を必ず遵守してください。子供に本製品および付属品で遊ばせると危険です。本製品には窒息の原因となる装着式の部品が含まれています。お子様の手の届かないところにおいてください。
- ・ 本製品および付属品はお子様による使用を意図していません。お子様が本製品を使用する際には、保護者の監視の下で使用するようにしてください。

付属品

- ・ 指定品以外の電源アダプタ、充電器を使用すると、発火などの原因となります。
- ・ 本製品の製造メーカーによる本モデルに対応した正規の付属品のみをご使用ください。正規以外の付属品を使用した場合は、保証の対象外となる場合があります。また現地の法律に違反しているおそれがあり、危険です。ご利用の地域での正規付属品の利用可否については、販売店にお問い合わせください。

電源アダプタの安全について

- ・ 電源プラグは端末の断路装置として機能します。
- ・ プラグの着脱が可能な機器については、コンセントの近くに機器を置いて、簡単に接続できるようにしてください。
- ・ 未使用時は電源アダプタをコンセントから外し、本製品からも外してください。
- ・ 電源ケーブルが損傷している場合（コードが剥き出しになっていたり、破損している場合）またはプラグが緩んでいる場合は、すぐに使用をやめてください。そのまま使用を続けると、感電、短絡、火災などの原因となります。
- ・ 濡れた手で電源コードを触らないでください。また電源アダプタを外す際に、電源コードを引っ張らないでください。
- ・ 濡れた手で電源アダプタに触れないでください。感電、短絡、故障の原因になります。

掃除とお手入れ

- ・ 本製品および付属品は濡らさないようにしてください。本製品および付属品を乾かす際は、ドライヤーなどの熱風を使用しないでください。
- ・ 極端な高温または低温の場所に置かないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- ・ 掃除する際に衝撃を与えないようにしてください。故障、過熱、火災の原因となります。
- ・ 本製品の使用中に掃除やお手入れをしないでください。接続されているすべてのケーブルを外してから行ってください。

- ・ 本製品および付属品を掃除する際に、化学洗剤、パウダー、その他の化学薬剤（アルコールやベンジン）は使用しないでください。傷や発火の原因となる場合があります。柔らかい清潔な布で乾拭きしてください。
- ・ 本製品および付属品を分解、改造しないでください。これは保証の対象外となり、メーカーは一切の責任を負いません。損傷した場合のサポートおよび修理について、ファーウェイ正規のサービスセンターにお問い合わせください。
- ・ 本製品の画面が何らかの衝撃で破損した場合、すぐに使用をやめてください。破損した部品に触れたり、取り外そうとしないでください。すぐにファーウェイ正規のサービスセンターにご連絡ください。

処分およびリサイクルに関する情報



本製品、印刷物、パッケージに表示されたこの記号は、使用済みの製品を、各自治体によって指定された分別ごみ収集場所に出す必要があることを示しています。正しく廃棄することにより、電気電子機器（EEE）廃棄物は価値の高い物質を残したままリサイクルと処理が行われ、人の健康と環境を保護します。

詳細については、各自治体、販売店、家庭用のごみ処理業者に問い合わせるか、当社のウェブサイト（<https://consumer.huawei.com/jp/>）を参照してください。

有害物質の削減

本製品およびその電気付属品は、電気電子機器での特定の危険物質の使用の制限に関する現地の適用規則（EU REACH規制、RoHS指令、バッテリー指令（バッテリーが含まれる場合））に準拠しています。REACHおよびRoHSの適合宣言については、

<https://consumer.huawei.com/certification> のウェブサイトをご覧ください。

法律上の注意事項

Copyright © Huawei 2021.All rights reserved.

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可

Bluetooth[®]というワードマークやそのロゴは*Bluetooth SIG, Inc.*の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltd.によるこの商標の使用はライセンス許可されています。Huawei Device Co., Ltd.は、Huawei Technologies Co., Ltd.の関連会社です。

Wi-Fi[®]、Wi-Fi CERTIFIEDロゴとWi-FiロゴはWi-Fi Allianceの商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービス

や、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huaweiは、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

個人情報保護方針

当社の個人情報保護方針については、<https://consumer.huawei.com/privacy-policy>をご覧ください。

詳細なヘルプ

各国や各地域の最新のお問い合わせ先については、<https://consumer.huawei.com/jp/support>をご参照ください。

本製品の色、サイズ、表示内容をはじめ、本書のすべての写真とイラストは参考のためにのみ提供されています。実際の機器とは異なる場合があります。本書の内容については、明示および黙示を問わずいかなる保証もいたしません。